

令和 8 年度

福島合同庁舎統計調製室設置工事

特別仕様書

東北農政局

第1章 総 則

福島合同庁舎統計調製室設置工事の施工に当たっては、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書」（以下「標準仕様書」という。）及び同「公共建築改修工事標準仕様書」（以下「改修標準仕様書」という。）に基づいて実施する。

標準仕様書及び改修標準仕様書に対する特記及び追加事項は、この特別仕様書によるものとする。

第2章 工事内容

1. 目的

本工事は、福島合同庁舎の車庫を改修して、米・大豆等の作況統計を把握する作業を行う福島県拠点の統計調製室を設置する工事を行うものである。

2. 工事場所

福島県福島市霞町 1－4 6

3. 工事概要

本工事の概要は次のとおりである。

福島合同庁舎統計調製室（屋外地上 1 階車庫改修）

- | | |
|-----------|--|
| 1) 主要構造 | 鉄筋コンクリート造平屋建て |
| 2) 内側面積 | 142.18 m ² (D6.28m×L22.64m) |
| 3) 内側高さ | 2.75m |
| 4) 建築工事 | 1 式 |
| 5) 電気設備工事 | 1 式 |
| 6) 機械設備工事 | 1 式 |

4. 工事数量

別紙工事数量表のとおりである。

第3章 施工条件

1. 工事期間

本工事の作業着手は速やかに行うものとし、その詳細については監督職員と打合せるものとする。

2. 工事を施工しない日及び工事を施工しない時間帯

- | | |
|-----------------|---|
| (1) 工事を施工しない日 | 原則、土曜日、日曜日、祝日。ただし、発注者と受注者の間で協議の上、別に定める場合はこの限りで無い。 |
| (2) 工事を施工しない時間帯 | 平日の午後 5 時から午前 8 時まで。ただし、発注者と受注者の間で協議の上、別に定める場合はこの限りで無い。 |

3. 工程制限

- | |
|---|
| (1) 福島合同庁舎の電気室の電灯盤及び動力盤改修におけるブレーカ設置及び配線接続は、休日に施工を行って終えるものとする。 |
| (2) 自動火災報知設備における感知器及びスピーカーへの接続、並びに電気配線は、休日に施工を行って終えるものとする。 |

第4章 現場条件

1. 工事用電力及び用水

本工事に必要な電力及び用水は、受注者の負担とする。

なお、次のものは庁舎の施設を無償で利用できるものとする。

- ・統計調製室設置後の試運転・完成検査時の電力及び上水道並びに排水施設

2. 第三者に対する措置

(1) 本工事の施工に当たっては、第三者に対する災害防止と粉塵飛散防止のための対策を施すものとする。

(2) 公共道路の使用に当たっては、地域住民及び一般車両の通行を優先し、通行に支障を及ぼさないよう受注者において事故防止に努めなければならない。

また、善良な道路使用にも関わらず路面等の補修が必要となった場合は、監督職員と協議するものとする。

なお、受注者の責により当該道路に損傷を与えた場合は、速やかに関係者と協議の上、受注者の責任により復旧するものとする。

(3) 工事用車両による公共道路の路面汚濁の防止及び、路面清掃等の維持管理を行うものとする。

(4) 工事用車両の運行に当たっては、通学時間帯に配慮して行うものとする。

3. 関係機関との調整

本工事において、関係機関との調整が必要となった場合は、監督職員と協議するものとする。

第5章 工事用材料

1. 見本又は資料提出

本工事で使用する工事用材料は、使用前に試験成績書、品質証明書、見本、カタログ等を監督職員に提出して承諾を得なければならない。

2. 資材の調達

次の資材については、以下の調達地域等から調達することを想定しているが、安定的な確保を図るために、当該調達地域等以外から調達せざるを得ない場合には、事前に監督職員と協議するものとする。

また、購入費用及び輸送費用等に要した費用について、証明書類（実際の取引伝票等）を監督職員に提出するものとし、その費用について設計変更することとする。

資 材 名	規 格	調達地域等
再生砕石	R C - 4 0	福島市
購入土（山砂）		福島市

3. 工事に使用する土砂（購入土）について

受注者は、工事で使用する土砂を現場に搬入する前に、土砂が採取された箇所の土砂採取に係る関連法案の許可書の写しを監督職員に提出しなければならない。（採石法第33条による採取計画認可書、砂利採取法第16条による採取計画許可書、森林法第10条の2による林地開発許可書）

第6章 施工

1. 一般事項

(1) 施工に先立ち、工事工程表及びその補足として週間工程表を作成し、監督職員に

提出するものとする。

- (2) 施工に先立ち、作業日毎に入場作業員名簿及び庁舎敷地に駐車する車両番号と台数を、監督職員に提出するものとする。なお、極力減車に協力するものとする。
- (3) 作業実施に当たっては、必要な養生を行うものとする。また、庁舎内の作業終了後は、その都度清掃及び後片付けを行い、通常の勤務に支障のないようにするものとする。
- (4) 工事施工に当たっては、庁舎施設・備品等に損傷を与えないよう十分注意するものとする。なお、受注者の責により損傷を与えた場合は、速やかに復旧するものとする。

2. アスベスト含有建材の撤去

(1) アスベスト含有内壁塗装仕上げ及び下地調整剤撤去

車庫の第1室の内壁吹付材の除去は、石綿障害予防規則（平成17年厚生労働省令第21号）における作業レベル1で同規則に基づいて作業計画書作成及び官公庁届出並びに報告書等適切に行うものとする。

- (2) 撤去及び撤去後の細分と保護は、作業員が素手で触らないよう化学防護ゴム手袋、万一の飛散と吸引防止のため防塵めがね、防塵マスク、フィルターを着用して行うものとする。

3. 建設資材廃棄物の搬出

工事施工に伴う建設資材廃棄物は、関係法令に従い適切に搬出処理するものとする。搬出処理後は、マニフェストを監督職員に提出するものとする。

建設資材 廃 棄 物	処 理 会社名	住 所	受け入れ 時 間	事業区分
・アスファルト殻 、くず ・コンクリート殻 、くず	県北建設資源再生協同組合	福島市下飯坂字鶴形 3 6 - 5	8 時～17 時	再資源化 再資源化
・鉄くず ・ガラスくず ・廃プラスチック	恵和興業(株)	福島市荒井字北一 ノ坂 3 - 1	8 時 30 分 ～16 時	最終処分 最終処分 最終処分
・金属くず	北東物産(株)	福島市北中央3丁目 9 8	8 時～17 時	再資源化
・汚泥 (アスファルト舗装切断 時濁水)	(株)モンマ郡山 事業所	郡山市待池台 1 丁 目 4 3	8 時～17 時	再資源化
・石綿含有吹付材	(株)東北エコー クリーン	田村郡小野町大字 塩庭熊田 38	8 時～17 時	最終処分

4. 発生材

- (1) アスベスト廃材は、密封処理（二重梱包）とする。
- (2) 舗装切断に伴う排水等の処理

舗装切断に伴い発生する排水又は切削粉は、直接、現場外に排出することがないよう回収し、産業廃棄物として適正に処理するものとする。

なお、舗装材に使用する場合等には「舗装再生便覧」（（社）日本道路協会発行）等を遵守する。

5. 特定建設資材の分別解体等

（１）本工事における特定建設資材の工程毎の作業内容及び分別解体等の方法は、次のとおりである。

工 程	作 業 内 容	分別解体等の方法
①造成等	造成等の工事 ☐ 有 ☒ 無	☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用
②基礎・基礎ぐい	基礎・基礎ぐいの工事 ☐ 有 ☒ 無	☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用
③上部構造物・外装	上部構造物・外装の工事 ☐ 有 ☒ 無	☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用
④屋根	屋根の工事 ☐ 有 ☒ 無	☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用
⑤建築設備・内装等	建築設備・内装等の工事 ☒ 有 ☐ 無	☒ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用
⑥その他 ()	その他の工事 ☒ 有 ☐ 無	☐ 手作業 ☒ 手作業・機械作業の併用

（２）本工事の施工上の収まり又は取り合い等の関係で、工法等を変更する必要がある場合は、事前に監督職員と協議するものとする。

（３）工事車両の庁舎敷地内資材搬入出時等の走行に当たっては、職員等との交通事故の防止に努めなければならない。

（４）工事施工に当たっては、騒音、振動、粉塵等の対策について十分に配慮し、職員等との協調を図り、工事の円滑な進捗と事故防止に努めなければならない。

第7章 工事現場管理

1. 主任技術者の資格

主任技術者の資格は、1級若しくは2級建築施工管理技士（建築）又は同等以上の能力を有するものとする。なお、同等以上の資格を有する者とは、次の者とする。

- ・ 1級建築士又は2級建築士の資格を有する者

2. 施工管理及び品質管理

施工管理及び品質管理は、標準仕様書1章3節及び改修標準仕様書1章3節によるものとする。

第8章 条件変更の補足説明

本工事の施工に当たり、自然的又は人為的な施工条件が設計図書等と異なる場合、あるいは、設計図書等に明示されていない場合の施工条件の変更に該当する主な事項は、次のとおりである。

- 1) 施工上の収まり又は取り合い等の関係で工法等に変更が生じた場合
- 2) 間仕切り位置に変更が生じた場合
- 3) 工程制限の休日作業と平日作業に変更が生じた場合
- 4) 内装工事の防滑塗装前に床補修の必要が生じた場合
- 5) 建設資材廃棄物等の搬出場所及び数量等に変更が生じた場合（受注者の責によらない）
- 6) 交通誘導員Bを配置する必要があるが生じた場合
- 7) コンクリート内X線非破壊検査の必要が生じた場合
- 8) 工事数量の精査により変更が生じた場合
- 9) 熱中症対策に係る費用の変更が生じた場合
- 10) 現場環境（快適トイレ）の整備について、発注者及び受注者協議の上、整備に必要な費用の変更が生じた場合
- 11) 女性も働きやすい現場環境（トイレ・更衣室）の整備について、発注者及び受注者協議の上、整備に必要な費用の変更が生じた場合
- 12) 設計変更に必要な調査、測量、設計、図面作成、数量算出を監督職員が指示した場合
- 13) 第三者との協議により変更が生じた場合
- 14) その他発注者及び受注者協議の上、必要と認めた場合

第9章 その他

1. 電子納品

工事完成図書は、標準仕様書1章7節及び改修標準仕様書1章9節に基づき作成し、次のものを提出しなければならない。

- ・工事完成時の提出図書の電子媒体（CD-R若しくはDVD-R） 正副2部
- ・工事完成時の提出図書の出力 1部（電子媒体の出力、市販のファイル綴じで可）

2. 週休2日による施工

- (1) 本工事は、受注者が工事着手前に発注者に対して週休2日に取り組む旨を協議したうえで工事を実施する週休2日促進工事（受注者希望方式）である。

週休2日の取組の希望の有無を工事着手前に監督職員に工事打合書等で報告するものとする。週休2日の取組を希望しない受注者は（3）及び（4）に規定する義務を負わない。

- (2) 週休2日の考え方は以下のとおりである。

- ① 「週休2日」とは、対象期間において、工期中の全ての週における週休2日以上現場閉所を行ったと認められる状態をいう。
- ② 「対象期間」とは、工事着手日（現場に継続的に常駐した最初の日）から工事完成日までの期間をいう。なお、年末年始6日間、夏季休暇3日間、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間のほか、発注者があらかじめ対象外とした内容に該当する期間（受注者の責によらず現場作業を余儀なくされる期間など）は含まない。
- ③ 「現場閉所」とは、巡回パトロールや保守点検等を除き、現場事務所での作業を含めて1日を通して現場が閉所された状態をいう。
- ④ 現場閉所率の算定においては、降雨、降雪等による予定外の閉所日についても、現場閉所日数に含めるものとする。

- (3) 受注者は、工事着手前に、週休2日の取得計画が確認できる「現場閉所予定日」を記載した「実施工程表」等を作成し、監督職員の確認を得た上で、週休2日に取り組むものとする。工事着手後に、工程計画の見直し等が生じた場合には、その都度「実施工程表」等を提出するものとする。監督職員が現場閉所の状況を確認するために「実施工程表」等に「現場閉所日」を記載し、必要な都度、監督職員に提出するものとする。また、施設管理者の承諾を前提に週休2日促進工事である旨を仮囲い等に明示する。
- (4) 監督職員は、受注者が作成する「現場閉所日」が記載された「実施工程表」等により、対象期間内の現場閉所日数を確認する。
- (5) 予定価格のもととなる当初積算においては、工期中の全ての週における週休2日以上を前提に、下表に示す補正係数を労務に乘じている。

補正対象	全ての週で2日以上	全ての月で4週8休以上	全体で4週8休以上
労務費	補正係数 1.02	補正係数 1.02	補正係数 1.00

- (6) 発注者は、現場閉所の達成状況を確認し、4週8休に満たない場合、上記に示す現場閉所率に応じた補正係数を用いて労務費を補正し、請負代金を減額変更する。

3. 熱中症対策に係る費用の計上

本工事は、次の熱中症対策を実施する場合については、受発注者間で必要な設置期間等を協議のうえ、設計変更により対応する試行工事である。

- 1) 遮光ネット（足場に設置するものに限る）
- 2) ドライミスト
- 3) 暑さ指数（WBGT値）の計測装置

4. 現場環境の改善の試行

本工事は、現場環境及び女性も働きやすい現場環境の整備について、監督職員と協議し、変更契約においてその整備に必要な費用を計上する試行工事である。

なお、トイレは男女別トイレを基本とし、次の設備・機能を満たすものとする。

- 1) 洋式便座
- 2) 簡易水洗
- 3) 臭い逆流防止機能（フラッパー機能）
- 4) 容易に開かない施錠機能（二重ロック等）
- 5) 照明設備（電源がなくても良いもの）
- 6) 付属設備（衣装掛け等のフック付き又は荷物置き場・鏡・手洗いの機能）

第10章 定めなき事項

この仕様書に定めない事項又は本工事の施工に当たり疑義が生じた場合は、必要に応じて監督職員と協議するものとする。

工 事 数 量 表

令和8年度 福島合同庁舎統計調製室設置工事				
工種・種別・細別	規 格	単 位	数 量	備 考
1. 直接工事費				
1-1. 統計調製室建築改修工事				
1) 直接仮設工事				
内部足場（脚立足場）	1800mm級 階高4m以下 1箇月（鋼製脚立1735mm）	床㎡	141.0	
仮設資材運搬	内部足場（脚立足場）	㎡	141.0	
墨出し		延㎡	141.0	
養生		延㎡	141.0	
整理清掃後片付け		延㎡	141.0	
2) 建具改修工事				
ガラス撤去		㎡	5.4	
ガラス新設	網入型板ガラス t=6.8	㎡	1.1	
アルミパネル撤去		㎡	1.6	
アルミパネル新設	t=3.0	㎡	5.9	
スチールパネル新設	t=1.6	㎡	1.1	
ガラスシーリング新設	5×5 SR-1	m	107.0	
3) 内装改修工事				
グラスウールボード張り	t=25 32kg/m3 薄手ガラスクロス額縁張り	㎡	308.0	
合成樹脂塗床	薄膜型エポキシ樹脂塗床 防滑仕様、仕上厚1.2mm	㎡	139.0	
4) 塗装改修工事				
鋼製建具塗装	SOP塗り（B種）、錆止め含む	㎡	22.2	
5) 屋外舗装改修工事				

工種・種別・細別	規 格	単 位	数 量	備 考
アスファルト舗装(材料費)	路盤材(RC-40, t=150)、 加熱アスファルト混合物(再生 密粒度アスコン(13), t=50)、 プライムコート(PK-3)	m ²	12.5	
アスファルト舗装(施工費)	路床整生(特に狭い場 所)、 路盤材敷均し・締固め(特 に狭い場所)、 プライムコート散布、 アスファルト混合物敷均し・締 固め(特に狭い場所)	m ²	12.5	
アスファルトカッター入れ		m	50.0	
アスファルト舗装取壊し		m ³	0.6	
舗装機械運搬	11t車、振動ローラ	日	1.0	
撤去機械運搬	BH0.13m3	日	1.0	
6)アスベスト除去工事				
(1)仮設工事				
作業架台	立馬等、H=2m未満、1ヶ月	台	1.0	
床養生	プラスチックシート0.15mm(2重)	m ²	14.4	
壁養生	プラスチックシート0.10mm(1重)	m ²	19.3	
仮設材運搬	4t車(安全衛生設備機器類共)	式	1.0	
整理清掃後片付け	作業前後HEPAフィルター付真空掃除機	式	1.0	
(2)吹付除去工事				
①安全衛生設備機器等				
セキュリティハウス設置	クリーンルーム	基	1.0	
負圧除じん機損料	HEPAフィルター含む	個所	1.0	
高性能真空掃除機損料	HEPAフィルター含む	台	1.0	
エアレスガンユニット損料	薬剤圧送ポンプ含む	台	1.0	
仮設発電機	25KVA	基	1.0	

工種・種別・細別	規 格	単 位	数 量	備 考
特別管理廃棄物保管庫	1坪程度	個所	1.0	
飛散防止剤・抑制剤吹付	アスベスト専用薬剤	m ²	20.9	
除去作業手間	集塵装置付きデイスクレーンダブ	m ²	20.9	
廃材収集・袋詰め	二重袋詰め、小運搬共	m ²	20.9	
副資材消耗品	防護服、靴カバー、手袋、80セット 4回/日×2人×2週間（5日/週）	式	1.0	
副資材消耗品	防塵マスク交換用ろ過材、20セット 1セット/日×2人×2週間（5日/週）	式	1.0	
②石綿粉じん濃度測定				
石綿粉じん測定 施工前	作業室内、セキュリティゾーン前	点	2.0	
石綿粉じん測定 施工前	施工区画周辺又は敷地境界	点	2.0	
石綿粉じん測定 施工中	作業室内	点	1.0	
石綿粉じん測定 施工中	セキュリティゾーン	点	1.0	
石綿粉じん測定 施工中	負圧除塵装置排出口	点	1.0	
石綿粉じん測定 施工中	施工区画周辺又は 敷地境界（東西南北）	点	4.0	
石綿粉じん測定 養生解体前	作業室内	点	1.0	
石綿粉じん測定 施工後	作業室内、セキュリティゾーン前	点	2.0	
石綿粉じん測定 施工後	施工区画周辺又は 敷地境界（東西南北）	点	4.0	
報告書作成	5 部	式	1.0	
③石綿廃棄物処理費				
特別産業廃棄物運搬費	2t車	台	1.0	
特別産業廃棄物処分費	廃石綿・養生シート共	m ³	1.0	
産廃税	福島県条例	t	0.3	
④その他				
申請書類作成		式	1.0	

工種・種別・細別	規 格	単 位	数 量	備 考
1-2. 建設資材廃棄物積込運搬費				
発生材積込・運搬費（ガラスくず）	DT2.0t 運搬距離L=8.5km以下	m ³	0.1	
発生材積込・運搬費（金属くず）	DT2.0t 運搬距離L=17.0km以下	m ³	0.01	
発生材積込・運搬費（廃プラスチック）	DT2.0t 運搬距離L=8.5km以下	m ³	0.01	
発生材積込・運搬費（アスファルト殻・くず）	DT2.0t 運搬距離L=8.5km以下	m ³	1.0	
発生材積込・運搬費（汚泥）	DT2.0t 運搬距離L=60km以下	m ³	0.08	
1-3. 建設資材廃棄物処理費				
建設資材廃棄物処理費	ガラスくず 最終処分	m ³	0.1	
建設資材廃棄物処理費	金属くず 中間処分	m ³	0.01	
建設資材廃棄物処理費	廃プラスチック 最終処分	m ³	0.01	
建設資材廃棄物処理費	アスファルト殻・くず 中間処分	t	1.5	
建設資材廃棄物処理費	汚泥 中間処分	m ³	0.08	アスファルト舗装 切断時濁水
1-4. 統計調製室電気設備改修工事				
1) 電灯設備 電灯幹線	材工共			
ケーブル（休日作業）	EM-CET100sq 管路内	m	21.0	
電線管	(G54) 露出	m	21.0	
プルボックス	露出型(SS)防水仕様0.2m ² 未満/個 200□×200 銅板製・溶融亜鉛メッキ	個	1.0	
コア抜き	φ 65	個所	2.0	
電力量計ボックス	W400×H600×D200	面	1.0	
電力量計	1φ 3W	個	1.0	
電灯盤（休日作業）	屋内壁掛、露出、 1φ 3w100/200V	面	1.0	
2) 電灯設備 電灯分岐	材工共			

工種・種別・細別	規 格	単 位	数 量	備 考
ケーブル	EM-EEF2.0mm-3C 管路内	m	51.0	
ケーブル	EM-EEF1.6mm-3C 管路内	m	120.0	
ケーブル	EM-EEF1.6mm-2C 管路内	m	61.0	
電線管	(G42) 露出	m	5.0	
電線管	(G28) 露出	m	121.0	
電線管	(G22) 露出	m	38.0	
埋込スイッチ	1P15A×1	個	4.0	
埋込スイッチ	1P15A×1 PL付	個	7.0	
照明器具（露出形）	LEDベースライト、LSS9-4 40W×1 6900lm相当	台	20.0	
非常照明器具（露出形）	LED非常照明 13W形K1-LSS11-2	台	4.0	
露出ボックス	丸型 4方出 G28 壁付	個	11.0	
露出ボックス	丸型 4方出 G28 天井付	個	5.0	
露出ボックス	丸型 4方出 G22 壁付	個	2.0	
スイッチボックス	カバー付、2個用	個	1.0	
スイッチボックス	カバー付、1個用	個	3.0	
プルボックス	露出型(SS)防水仕様0.2㎡未満/個 200□×150 鋼板製・溶融亜鉛メッキ	個	1.0	
コア抜き	φ 65	個所	1.0	
レースウェイ	2種 金属線ぴ、A型	m	8.0	
3) 電灯設備 コンセント分岐	材工共			
ケーブル	EM-EEF2.0mm-3C 管路内	m	204.0	
電線管	(G42) 露出	m	13.0	
電線管	(G28) 露出	m	128.0	
露出ボックス	丸型 4方出 G28 壁付	個	7.0	

工種・種別・細別	規 格	単 位	数 量	備 考
露出ボックス	丸型 4方出 G28 天井付	個	2.0	
コンセント	2P15A×1 接地極付	個	33.0	
配線器具	アースターミナル	個	11.0	
スイッチボックス	カバー付、2個用	個	11.0	
プルボックス	露出型(SS)防水仕様0.2㎡未満/個 200□×200 鋼板製・溶融亜鉛メッキ	個	2.0	
4)動力設備 動力幹線	材工共			
ケーブル (休日作業)	EM-CET100sq 管路内	m	23.0	
電線管	(G54) 露出	m	23.0	
プルボックス (防水型)	露出型(SS)防水仕様0.2㎡未満/個 200□×200 鋼板製・溶融亜鉛メッキ	個	1.0	
コア抜き	φ 65	個所	2.0	
電力量計ボックス	W400×H600×D200	面	1.0	
電力量計	3 φ 3 W	個	1.0	
動力盤 (休日作業)	屋内壁掛、露出、3 φ 3w200V	面	1.0	
5)動力設備 動力分岐	材工共			
ケーブル	EM-CET14sq 管路内	m	94.0	
ケーブル	EM-CE5.5sq-3C 管路内	m	20.0	
ケーブル	EM-CE3.5sq-3C 管路内	m	26.0	
ケーブル	EM-IE5.5mm ² 管路内	m	94.0	
ケーブル	EM-IE2.0mm ² 管路内	m	45.0	
電線管	(G54) 露出	m	67.0	
電線管	(G42) 露出	m	28.0	
電線管	(G22) 露出	m	45.0	
プルボックス	露出型(SS)防水仕様0.2㎡未満/個 300□×300 ステンレス製	個	2.0	

工種・種別・細別	規 格	単 位	数 量	備 考
プルボックス	露出型(SS)防水仕様0.2㎡未満/個 200□×150 銅板製・溶融亜鉛メッキ	個	3.0	
コンセント	3P30A×1 接地極付	個	3.0	
スイッチボックス	カバー付、1個用	個	3.0	
コア抜き	φ 65	個所	1.0	
6)受変電設備				
(1)ブレーカー改修工事				
ブレーカー設置（休日作業）	MCCB200AF/200AT	個	2.0	材工共
既設電気室盤改造(休日作業)		式	1.0	
7)構内交換設備	材工共			
ケーブル	EM-EBT0.5mm-2P 管路内	m	63.0	
電線管	(G22) 露出	m	63.0	
配線器具	電話用アウトレット 壁付	個	2.0	
8)構内配電線路				
ケーブル（休日作業）	EM-CET100sq 管路内	m	98.0	材工共
電線管	(G70) 露出	m	16.0	材工共
電線管	FEP65 地中埋設	m	36.0	材工共
プルボックス	露出型(SS)防水仕様0.2㎡未満/個 300□×300 ステンレス製	個	1.0	材工共
プルボックス	露出型(SS)防水仕様0.2㎡未満/個 200□×200 ステンレス製	個	2.0	材工共
埋戻		m ³	3.2	
購入土	砂（埋戻し用）	m ³	3.2	
残土処分		m ³	7.5	
根切	つば・布堀 深さ2.5m程度	m ³	7.5	
床付	つば・布堀 深さ2.5m程度	m ²	12.5	

工種・種別・細別	規 格	単 位	数 量	備 考
埋設標識シート設置	B=150、シングル	m	25.0	材工共
土工機械運搬	機械運搬費 バックホウ	式	1.0	
9) 構内通信線路	材工共			
ケーブル	EM-EBT0.5mm-2P 管路内	m	99.0	
ケーブル	EM-AE1.2mm-4C 管路内	m	99.0	
ケーブル	EM-AE1.2mm-3C 管路内	m	99.0	
電線管	(G16) 露出	m	99.0	
電線管	(FEP30) 地中埋設	m	20.0	
プルボックス	露出型(SS)防水仕様0.2㎡未満/個 200□×200 ステンレス製	個	1.0	
プルボックス	露出型(SS)防水仕様0.2㎡未満/個 200□×150 ステンレス製	個	4.0	
10) 自動火災報知設備	材工共			
ケーブル	EM-AE1.2mm-4C 管路内	m	38.0	
電線管	(G22) 露出	m	38.0	
感知器	差動式スポット型感知器 2種 露出型	個	4.0	
消火器	ABC粉末消火器 10型、加圧式	個	4.0	
11) 拡声設備	材工共			
ケーブル	EM-AE1.2mm-3C 管路内	m	34.0	
電線管	(G22) 露出	m	34.0	
スピーカー	天井直付 露出型(天井吊下げ形)	個	3.0	
12) 電気設備解体工事				
電気設備撤去	配線等	m ³	0.5	
1-5. 建設資材廃棄物積込運搬費				
発生材積込・運搬費(金属くず)	DT2.0t 運搬距離L=17.0km以下	m ³	0.34	

工種・種別・細別	規 格	単 位	数 量	備 考
発生材積込・運搬費（廃プラスチック）	DT2.0t 運搬距離L=8.5km以下	m ³	0.15	
1-6. 建設資材廃棄物処理				
建設資材廃棄物処理費	金属くず 中間処分	m ³	0.34	
建設資材廃棄物処理費	廃プラスチック 最終処分	m ³	0.15	
1-7. 統計調製室機械設備改修工事				
1) 衛生器具設備	材工共			
水栓設置	回転横水栓 φ13、ハンドル	個	1.0	
不凍水栓柱設置	H1.0m	個	1.0	
2) 給水設備				
硬質ポリ塩化ビニル管	耐衝撃水道用 HIVP20A、 地中配管、継手・接合材等含む	m	5.0	材工共
量水器柵設置	MB-1（蓋含む）	個	1.0	材工共
配管分岐（樹脂管類）手間	配管分岐 20A	個所	1.0	
根切	つば・布堀 深さ2.5m程度	m ³	4.0	
埋戻	購入土 埋戻し用山砂	m ³	4.0	
コンクリートカッター入れ	手動式、ブレード径20cm	m	16.0	
コンクリート撤去	鉄筋切断共	m ³	1.4	
撤去機械運搬	空気圧縮機可搬式7.5～7.8m ³	日	1.0	
砂利事業	RC-40	m ³	1.1	材工共
生コン打設	24N(23+3)-15-20	m ³	1.4	材工共
溶接金網設置	φ 6 150×150	m ²	7.0	材工共
あと施工アンカー設置	D10 L=400（本体打込み式）	本	38.0	材工共
埋設標識シート設置	B=150、シングル	m	7.0	材工共

工種・種別・細別	規 格	単 位	数 量	備 考
3) 空気調和設備	材工共			
空冷ヒートポンプエアコン EHP-1	天吊形 三相200V50Hz 7.1kW×8.0kW、付属品等含む	台	2.0	
空冷ヒートポンプエアコン EHP-2	天吊形三相200V50Hz 10.0kW×11.2kW、付属品等含む	台	2.0	
一般配管用ステンレス鋼管	屋外露出 25A、圧縮・プレス 継手・支持金物含む	m	14.0	
ウォーターベスト	25A	個	4.0	
冷媒用被覆鋼管（保温付）	φ9.52、シングルコイル	m	20.0	
冷媒用被覆鋼管	φ15.9、フレイヤー接合	m	20.0	
冷媒用ラッキング	80A	m	20.0	
4) 換気設備	材工共			
天井換気扇 V-1	鋼板製・低騒音形 φ150×350m³/h、静圧60Pa	台	2.0	
天井換気扇 V-2	鋼板製・低騒音形 φ150×500m³/h、静圧70Pa	台	4.0	
天井換気扇 V-3	鋼板製・低騒音形 φ150×550m³/h、静圧80Pa	台	1.0	
ストレートシロッコファン FS-1	吸気タイプ・低騒音形 φ300×2450m³/h、静圧150Pa	台	1.0	
集塵機	払落し方式 ハットシェーキング、 風量 1200m³/h、 機外静圧 2.23KPa、 消費電力 3Φ200V 1.5kw、 固定用オールアンカー 1式含む	台	1.0	ダスミック EXN-ⅢHB 同等品
SUS ウェザーカバー	A、40cm用（防鳥網付）	台	1.0	
SUS ウェザーカバー	B、30cm用（防虫網付）	台	1.0	
SUS ウェザーカバー	C、25cm用（防虫網付）	台	2.0	
箱型SUSフード	t=1.0、1400×1000×400H	台	2.0	
スパイラルダクト（亜鉛鉄板）	φ150 0.5t	m	52.0	
スパイラルダクト（亜鉛鉄板）	φ225 0.5t	m	5.0	
スパイラルダクト（亜鉛鉄板）	φ250 0.5t	m	3.0	
スパイラルダクト（亜鉛鉄板）	φ300 0.5t	m	17.0	

工種・種別・細別	規 格	単 位	数 量	備 考
共板フランジ（亜鉛鉄板）	L ≤ 450mm	m ²	5.0	
ボックス	L ≤ 450mm	m ²	1.0	
ボックス	450 ≤ 750mm	m ²	6.9	
ボックス	750 ≤ 1200mm	m ²	2.5	
風量調製ダンパー	φ 225	個	2.0	
風量調製ダンパー	φ 300	個	1.0	
防火ダンパー	250 × 250	個	2.0	
防火ダンパー	300 × 300	個	1.0	
防火ダンパー	400 × 300	個	1.0	
吹出口VHS	結露防止、フィルター付き 400 × 400、0A=1, 225m ³ /h	個	2.0	
吹出口VHS	結露防止、フィルター付き 400 × 400、0A=1, 000m ³ /h	個	2.0	
保温（スパイラルダクト）	GW屋内露出 φ 150	m	14.0	
保温（スパイラルダクト）	GW屋内露出 φ 250	m	3.0	
保温（スパイラルダクト）	GW屋内露出 φ 300	m	3.0	
保温（長方形ダクト）	GW屋内露出、 ロックオール保温材、t=50mm	m ²	15.3	
5) 機械設備解体工事				
機器撤去		式	1.0	
1-8. 建設資材廃棄物積込運搬費				
発生材積込・運搬費（鉄くず）	DT2.0t 運搬距離L=8.5km以下	m ³	0.9	
発生材積込・運搬費（コンクリート殻・くず）	DT2.0t 運搬距離L=8.5km以下	m ³	1.4	
1-9. 建設資材廃棄物処理費				
建設資材廃棄物処理費	鉄くず 最終処分	m ³	0.9	
建設資材廃棄物処理費	鉄筋コンクリート殻・くず 中間処分	m ³	3.4	

工種・種別・細別	規 格	単 位	数 量	備 考
2. 共通仮設費		式	1.0	
3. 現場管理費		式	1.0	
4. 一般管理費等		式	1.0	
5. 一括計上価格				
アスベスト含有分析費（定性分析）	6種類JIS A 1481-1報告書共	検体	2.0	
試料採取費		式	1.0	